年次研究大会1986－2007

（開催年月日、場所、特別講演題名及び講演者）

第１回  1986年２月13日(木)大手ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ

第２回  1987年２月13日(金)竹中技研

・    世界のマクロエンジニアリング学会の動向（ヒューゴス女史・TASME）

・    情報化時代の都市戦略（飯田所長・大阪市）

第３回  1988年２月９日(火)大手ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ

・    英国巨大プロジェクト協議会の活動状況と国際マクロエンジニアリング学会連合への抱負（ウベ・キッチンガー・IAMES理事長）

・    横浜MM21コンセプトの背景と実施方法の特色（若竹肇・KK横浜みなとみらい21）

第４回  1989年２月16日(木)ｻﾝｹｲ会館

・    首都圏における交通問題とその対策（吉田喜市・飛島建設副社長）

・    オーストラリアの多機能都市計画について（前田正博・通産省）

第５回  1990年２月９日(金)学士会館

・    第１回マクロエンジニアリング国際会議の概要（中川学・JAMES会長）

・    マクロエンジニアリングに期待する（堤佳辰・日経新聞元論説委員）

第６回  1991年２月18日(月)学士会館

・    私の巨樹体験から（牧野和春・エッセイスト）

第７回  1992年２月28日(金)学士会館

・    中国(新疆ｳｨｸﾞﾙ)砂漠(ﾀｸﾗﾏｶﾝ)における生物土壌砂漠研究－砂漠緑化計画へのアプローチ－（都留信也・熱帯農業研究センター所長）

・    太陽発電衛星ＳＰＳ-2000（佐々木進・宇宙科学研究所助教授）

第８回  1993年３月２日(火)学士会館

・    トリレンマへの挑戦（新田義孝・(財)電力中央研究所）

第９回  1994年２月22日(火)学士会館

・    中国共産主義を考える（石川忠雄・慶応義塾大学前塾長）

第10回  1995年２月22日(水)学士会館

・    持続可能な社会に向けて（綿抜邦彦・東京大学名誉教授）

第11回  1996年２月22日(木)学士会館分館

・    巨大プロジェクトについて（持田 豊・鉱研工業　会長）

第12回  1997年２月27日(木)学士会館分館

・    メコン川流域開発計画の問題点とあるべき施策（堀 博・国連メコン委員会主任技師）

・    ドイモイと人間─大規模プロジェクトにおける経済性と社会性（ズオン･フー･ヒェップ・ヴェトナム国立日本研究センター所長）

第13回  1998年２月23日(月)学士会館分館

・    地球温暖化防止について(報告)─ＣＯＰ３(京都会議)─（新田義孝・(財)電力中央研究所）

第14回  1999年２月25日(木)

・    都市での多機能な新電力貯蔵―圧縮空気貯蔵ガスタービン発電ＣＡＥＳ（林  正夫・東海大学教授）

・    地球温暖化京都メカニズムの展望（新田義孝・　(財)電力中央研究所／四日市大学教授）

第15回  2000年2月17日(木)学士会館分館

・    新千年紀2000年時代の地図情報（都留信也・日本大学教授／JAMES会長）

第16回  2001年2月13日（火）

・    若狭湾地域の福祉タウン構想―電源立地と地域の活性化―（増子隆子・佐々木貴三江／NPO法人環境デザインセンター）

第17回  2002年2月14日（木）

・    人類と水資源―マクロ的考察（綿秡邦彦・立正大学教授／東京大学名誉教授／JAMES元会長）

第18回　2003年3月17日（月）

・    環境観測衛星“みどり”について（桝谷利男・JAMES会長）

第19回　2004年3月29日（月）

・　政策提言とその具体化（田端正広・衆議院議員／総務副大臣）

第20回　2005年3月29日（火）

・　あまりにも国際社会を知らない日本人へ（角田晋也・(独)海洋研究開発機構、木本研一・アステックインターナショナル、秋吉祐子・聖学院大学／JAMES理事）

第21回　2006年3月30日（木）

・　未来を開くマクロエンジニアリング（玉山昌顕、角田晋也、藤平涼子、綿抜邦彦／島　正之、沼尻重男、吉岡節子／木本研一／秋吉祐子、増子隆子／角田晋也）

第22回　2007年3月29日（木）

・　水資源（沼尻重男／玉山昌顕／角田晋也／茂木　創／秋吉祐子、増子隆子／亀田泰武／木本研一）